

妙智會

8月16日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
宮本法嗣先生ご指導Vol. 107
2023. 8. 22
1/2

本日は、「神さまごと」の話をさせていただきます。

私たちは、おたすき・お数珠を持って、ご先祖さま、そして尊い佛さまに対して、供養・回向をしています。同時に、神様にもお祈りをしています。皆さんは、お唱え上げの時に、「当地鎮守大神」と「水神尊」も読み上げていますが、心がなくなってしまうと読み上げても、通じないのです。

妙智會ではご本尊さま、三寶荒神さまに入神することで、神さまのお力を頂いて、佛さま、ご先祖さまに喜んで頂けるようになります。妙智會はそういう考え方です。

また当時開教した日、御旗を先頭に、会主さまが幹部を連れて明治神宮にお参りに行かれています。これが妙智會の心構えです。これを忘れてはいけません。ですから、歴代の明治神宮の宮司の方は、妙智會は違うということをずっと、次の宮司に伝えてくださっているのです。ちゃんと繋がっているのです。

皆さんは会主さまの弟子ですから、開教した日にご参拝され、いかに神さまごとが大切かを会主さまが教えてくださったのですから、会主さまが大切にすることを放っておいてはいけません。

良いお話だと思っただけで、ご自分の鎮守さまにご挨拶に行ってください。家から遠い鎮守さまは一度きちんと調べた方がいい

です。神社庁さんが各県にありますから電話すればすぐ教えてくれます。

そして、今まで本当に粗相しておりましたと、少しお賽銭を入れてください。お賽銭というのは、昔はお金ではなく、お供物でした。それが簡略化して、特にお金というものに価値が出たので、お金に変わったのです。皆さんは鎮守さま、ご縁のある神社には「お供物を差し上げている」という気持ちでお賽銭を入れなくてははいけません。自分の思いのお供物をお金に変えているので、お供物と思ったら、1000 円でも 5000 円でも、それもお心だから金額じゃないのです。差し上げる時も「お供物を差し上げている」という気持ちでお賽銭を、丁寧に、感謝をしながら入れてください。

また節目のときはやはり鎮守さまにご挨拶をします。節目というのは、例えば七五三や入学のようなときだけでなく、例えば病気など自分の体の大切なときです。土地をお借りして住んで、生きているわけですから、真っ先にご挨拶するべきなのです。またご先祖様もいらっしゃる土地ですから、お彼岸やお盆のときも、お墓参りの前にご参拝します。

本当に私たちは神さまに対しての敬信、真摯な心がなくなっています。ぜひもう一度、神さまごとに対しての心を作っていただければと思います。